

# 令和3年第11回定例公安委員会会議録

開催日時 令和3年5月13日（木）午前11時10分～午後2時45分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時5分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 服部警察本部長 川島警務部長 岡山首席監察官  
前田生活安全部長 谷村刑事部長 柴田交通部長  
加藤警備部長 青木警察学校長 濱口情報通信部長  
水谷警務部参事官

（事務局等～山脇公安委員会補佐室長、中村補佐、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 警察本部長に対する苦情の受理状況（令和3年1月～3月）（警務部）
- 警察施設における石綿含有調査の結果（警務部）
- 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和2年度第4四半期）（警務部）
- 山岳遭難防止対策の推進（生活安全部）
- ゴールデンウィーク期間中の交通状況（交通部）

（1）警察本部長に対する苦情の受理状況（令和3年1月～3月）（警務部）

### 警察本部

本年1月から3月までの期間、警察本部長に対する苦情はなかった。  
引き続き、県民の期待にこたえる活動を推進していく。

(2) 警察施設における石綿含有調査の結果（警務部）

**警察本部**

本年3月、警察学校射撃場の内壁及び天井の吹付部分に石綿が含有されていることが判明したことから、平成7年以前に建設した庁舎と職員宿舎、計48施設の再調査を実施した。

その結果、鳥取市内の職員宿舎1か所について、天井の一部から石綿の使用が確認された。この宿舎については、県衛生環境研究所において室内の大気中の石綿繊維の濃度測定を実施し、石綿の飛散がないことを確認済みである。また、令和2年度の健康診断結果では、石綿特有の健康被害である中皮腫等に関連する病気を発症している職員はいないことを確認している。

今後、入居中の職員に対して転居を依頼するとともに、現入居者の転居後は使用禁止とし、解体時には法令に基づく処理を実施する。

引き続き、現職の職員については毎年の健康診断を継続して確認するとともに、相談窓口を設置し、現職の職員及び退職者の相談に対応していく。

**委員**

引き続き、適切な措置を執っていただきたい。

(3) 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和2年度第4四半期）（警務部）

**警察本部**から、令和2年度第4四半期の懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果について報告があった。

**委員**

監察案件については適宜報告を受けているが、県警察は、各種ハラスメントや非違事案防止の取組等も含め、細やかな対応をされていると思うので、今後も各種施策を進めていただきたい。

**委員**

警察は、他の組織よりも高い規律の保持が大切である。引き続き、職員への指導を行っていただきたい。

(4) 山岳遭難防止対策の推進（生活安全部）

**警察本部**

令和2年中の県下の山岳遭難事故は、26件認知している。本年も、1月から4月までの間に9件の遭難を認知しており、昨年同時期に比べて大幅に増加して

いる。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響が一因と思われるが、登山者数は前年（令和元年）より減少したものの、遭難件数は前年と同数であり、高止まりしている。死亡事案は、令和元年10月の大山山系での滑落事案以降、発生はないが、令和2年末から本年初めにかけて、大山山系と氷ノ山において道迷いによる遭難が発生している。遭難者の傾向として、登山届が未提出であったり、県外者が6割から7割を占めているほか、高齢者、ベテラン、単独登山者が多い。

近年は、大山山系以外でも遭難が増加傾向にあることから、県警察では、各種遭難防止対策に取り組んでいる。平成27年11月には公益社団法人日本山岳ガイド協会と協定を結び、同協会が運営する登山アプリ「コンパス」による県警察からの情報発信のほか、新聞やケーブルテレビ等、様々な媒体を活用して遭難事故防止に関する広報を行っている。また、ゴールデンウィークには春山パトロール、年末年始から3月中旬までの間は冬山パトロールを行い、登山者への声掛けを行っている。本年の春山パトロールは、大山寺駐在所で出発式を行い、報道各社の取材を受けた。期間中、遭難事案が1件発生したが、無事、救助した。また、遭難発生時に最前線で活動する救助隊員の技術向上のため、毎年訓練を行っており、本年も計画である。そのほか、大山山頂から剣ヶ峰に向かう縦走路は過去に滑落事故が発生したことから、大山遭難防止協会名で立入禁止の看板を設置し、再発防止を図っている。

県警察では、山岳事故防止対策を更に推進するとともに、氷ノ山等についても管轄警察署の救助訓練を実施し、山岳事故への対応に万全を期す。

#### 委員

全警察官が訓練を受けているのか。

#### 警察本部

あらかじめ救助に従事する隊員を指定しており、隊員を対象に訓練を実施している。

#### 委員

有事の際に的確に対応するためには日頃の訓練が大切であるので、今後も訓練を継続していただきたい。

#### 委員

コンパスの利用が普及するよう、広報を行っていただきたい。

### (5) ゴールデンウィーク期間中の交通状況（交通部）

#### 警察本部

ゴールデンウィーク期間中の県内の主な交通状況について、昨年は、全国に緊

急事態宣言が発令されており交通量が少なかったため、昨年と比較すると全体的に交通量は大幅に増加した。しかし、一昨年比では、鳥取自動車道の鳥取ICで4パーセント増加したものの、その他の主要地点では減少した。

鳥取砂丘周辺では、砂丘入口交差点で、5月3日と4日に最大500メートルの渋滞が断続的に発生した。一昨年は、最大約3キロメートルの渋滞が発生し、鳥取警察署員が交通整理に当たったが、本年の対応はなかった。江島大橋周辺では、5月3日と4日の昼前後に、断続的に渋滞が発生した。米子自動車道では、交通事故の影響により、5月1日に最大約2.6キロメートルの渋滞が発生した。山陰道及び国道9号では、5月3日、4日とも、午前中に米子向き、午後に鳥取向きで最大4キロメートルから6.5キロメートルの渋滞が発生した。

ゴールデンウィーク期間中の前半は、天候も悪く、渋滞の発生はなかった。天候に恵まれた5月3日と4日は、交通集中等のため渋滞が発生したが、大きな混乱はなかった。

## 5 その他

○交通死亡事故多発警報の発令（交通部）

○その他

### （1）交通死亡事故多発警報の発令（交通部）

#### 警察本部

本年5月7日に鳥取警察署管内の山陰道、9日に琴浦大山警察署管内、10日には倉吉警察署管内で交通死亡事故が発生したことを受け、10日に鳥取県交通対策協議会長から、本年第2号の交通死亡事故多発警報が発令された。

死亡事故発生に歯止めを掛けるため、今月19日までの間、各警察署では、広報活動や検問等を強化し、緊急対策を講じる。

#### 委員

交通事故抑止には意識付けが大切であるので、効果的な広報活動を行っていただきたい。

### （2）その他

#### 委員

先日、聖火リレーの部隊訓練を視察したが、様々な想定で訓練を行っている姿を見て、とても頼もしく感じた。聖火リレーに従事する職員は、与えられた任務をしっかりと遂行していただきたい。また、通常の警察業務に支障がでないよう、

後方治安についてもよろしく願います。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 事前説明

警察署協議会委員の委嘱

### 3 報告事項

- ・ 審査請求書の受理
- ・ 犯罪被害者等早期援助団体からの事業計画書等の提出
- ・ 監察報告
- ・ 公用車交通事故の発生状況
- ・ 小型無人機等の飛行に関する通報の受理

### 4 決裁

- ・ 質物保管設備基準の一部改正
- ・ 指定自動車教習所関係

### 5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

### 6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。